

「創る仕事」を上手に選択。



建設業

入職促進 ガイドブック



中央技能振興センター
(中央職業能力開発協会)

熟練技能者の高齢化や若年者を中心としたものづくり離れ、技術離れが懸念される中、平成25年度に厚生労働省の委託事業として「若年技能者人材育成支援等事業」が創設されました。

ものづくりの現場では熟練技能者が退職する前に、若年技能者にこれまで培ってきた技術・技能やノウハウを伝承させるため様々な対策を講じていますが、慢性的な若手人材不足等のために有効な対策が講じられていないことが多々あり、このままでは日本のものづくり産業が衰退しかねません。引き続きわが国のものづくり産業が競争力を維持し、発展を遂げていくには、産業の基盤となる高度な技能を有する技能者の育成が不可欠です。そのためこの事業では、技能労働者の地位向上を図り、若者が進んで技能者を目指す環境整備をするために様々な取組を行なっています。

今回、若年技能者の入職を促し、技能伝承を促進するという観点から、人材が不足する当該業界の人材を確保するために入職促進ガイドブックを作成いたしました。

本ガイドブックは当該業界の学識者に加えて、企業の「若年技能者」及びその「先輩の技能者」、「人材育成の担当者」等の方々への取材を通じて業界の動向や企業で活躍している若年技能者を紹介しています。

限りない未来あるみなさんの進路を考える際の一助になれば幸いです。

なお、本書の作成に当たり、ご多忙の中、取材にご協力いただきました関係の方々に対し、誌面を借りて厚く御礼申し上げます。

平成29年3月
中央技能振興センター



建設業界に詳しい専門家に聞く
国内外に広がる建設業の仕事求められる高レベルの技能労働者 4
ものつくり大学 技能工芸学部 建設学科 教授 博士(工学) 三原 斉さん

とび
社会の基盤をつくる建設業に不可欠な職人技 6
向井建設 株式会社 布施 龍一さん

配管
水道や空気などライフラインに関わる設備工事の要 8
株式会社 千代田設備 星野 玲於さん

左官
歴史的建造物から一般建築物まで壁を塗る技術で建設業を支える 10
株式会社 イスルギ 上田 朋弥さん

造園
造園の新たな可能性を模索しチャレンジ 12
株式会社 高橋造園土木 服部 拓哉さん

電気工事
快適な暮らしと安全を守る電気工事の仕事 14
島根電工 株式会社 野津 宏太さん

築 炉
精巧な炉づくりで日本の鉄鋼産業を支える 16
株式会社 ヤマサキ 白谷 和樹さん

「技能検定」のご案内 18
働く人の「技能レベル」を評価する国家資格

国内外に広がる建設業の仕事 求められる高レベルの技能労働者

どんな仕事も決して手を抜かない技術大国としての土台を築き、地震国として災害に強い街づくりを目指してきた日本の建設業。プロジェクトチームにより強固な建築物や多くの構造物をつくり、またそれをリニューアルして、安全に維持・管理を行う。

毎日過ごす空間やいつもの街の風景、生活環境の隅々にある建設業の技能労働者(職人)と呼ばれる人々のさまざまな仕事には人々の生活や社会を守る、そんな精神が受け継がれています。



ものづくり大学 技能工芸学部 建設学科 教授
博士(工学)

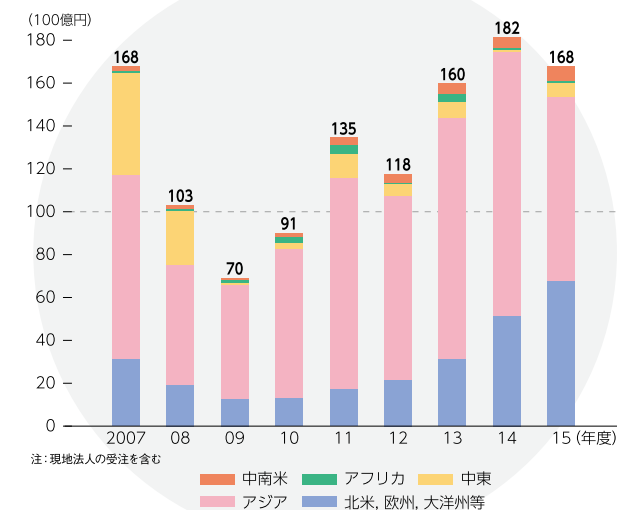
みはら ひとし
三原 斉 さん

プロフィール 近畿大学工学部建築学科卒業。村本建設株式会社に入社し、現場監督などを経験。その後、工学院大学大学院工学研究科建築学専攻社会人特別選抜で修士・博士課程を修了。日本工業大学付属東京工業高等学校建築科教諭、ものづくり大学助教授・准教授を経て現職。建築生産、建築施工、建築構法、建築技術技能者教育などを研究している。英レディング大学客員研究員、法政大学特任研究員を兼任。一級建築士、一級建築施工管理技士、一級土木施工管理技士など。

世界から求められる 日本の建設業と技能労働者

日本の建設業界の強みは技術力の高さと、引き受けた仕事は決して手を抜かず、たとえ赤字になっても完成させる「パッケージ方式」にあります。日本のゼネコンのようなシステムは、実は世界にはあまりなく、現在、日本のゼネコンの海外事業は1.7兆円もの規模があるとされています。成長著しいアジアを中心にその市場はおおよそ10倍もあるともいわれ、今後は大手から中堅ゼネコンの海外展開が続くとみられます。指導的立場にある建設技能労働者の需要も非常に高く、技能労働者のグローバル化も求められています。

海外工事受注の推移



注:現地法人の受注を含む

資料:海外建設協会「海外建設受注実績」より



2020年以後を見据え 模索が続く 建設業界の仕事

日本の建設投資は2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、東京都心部とその周辺はやや上向きの感じがありますが、全国でみると横ばいか減少傾向の厳しい現状が続いています。

新築工事が減少する一方で、新しい流れとして出てきているのは、リフォーム、リニューアル産業と呼ばれる改修や改築の需要です。特に地方では「コンバージョン」という形も目立ってきています。コンバージョンとは建築物の構造躯体はそのまま残して活かし、より利用価値の高い建築物につくり変えるというものです。例えば、ボウリング場のような娯楽施設などの広い空間を上手に活かし、公共施設や別の商業施設などにつくり変えることで、効率のよい形で再利用が可能になり、地域の活性化にもつながります。

こうした動きは2025年以降に本格化するといわれています。しかし、現在はまだ新築需要の方が圧倒的に多い状況であり、新しい市場の開拓や技術開発も進んでいます。人々の暮らしがある限り、建設業の仕事が尽きることはありません。



改善が進む 建設業技能労働者の 労働環境の整備

これまで建設業の技能労働者について、「一人親方」と呼ばれる立場の人が多く、雇用形態や社会保険制度などが不安定なままの状態でした。しかし、現在は技能労働者がきちんとした形で働き続けられるように、建設業界や国土交通省など関係各省庁が協力してさまざまな改善を行っています。

その一つが社会保険制度の整備です。賃金とは別に、「法定福利費」を上乗せして請求し、専門工事会社に対しその支払いを義務付けることになりました。まだやっと一歩踏み出した段階ではありますが、社員と



Keyword

登録基幹技能者制度

1996年に専門工事業団体による民間資格としてスタート。2008年、建設業法施行規則改正により、新たに「登録基幹技能者制度」となりました。一定年数以上の実務・職長経験及び最上級の技能者資格(1級技能士等)の保有等の要件を満たし、国土交通省の登録機関が実施する登録基幹技能者講習の修了者が登録基幹技能者として認められています。

同様の給料体系や地位の確保など、技能労働者を守るための流れ、安心して入職できる環境整備の動きはこれからも続くものと思われます。



技能だけでなく 高度な判断力を持つ 技能労働者の育成も

建設業に技能労働者として入職するのは、技術系の教育を受けた人だけではありません。普通科の高校、文系の大学を出て飛び込む人もたくさんいます。大切なことは興味を持って仕事に取り組めるかどうか。入職して仕事を覚える2~3年間は厳しい時期ですが、そこを高い目標を持って臨めるかが重要です。

もし高いレベルの技能労働者を目指したいなら、早い機会に技能検定の受検をお勧めします。検定職種に係る専門学校等に在学中の場合、3級から受検できます。また、建設業で技能労働者として働いていくうえで、更なる目標となるのが「登録基幹技能者制度」です。ますます高度化する建設現場において指導的な立場にあり、マネジメント業務から現場監督に技術的な提案もできる、経験豊富で熟達した能力を持つ技能労働者を認定しています。



建設業の魅力は スケールの大きな 「ものづくり」

ものづくりにはさまざまな仕事がありますが、建設業が製造業と大きく違うのは、一つの大きなプロジェクトを立ち上げ、さまざまな立場の人が一つのものをつくり込んでいくという点にあります。建築主、設計者、施工者の三者がプロジェクトを構成してつくり込む。これは建物の大・小に関わらず同じ形をとり、それが完成するとプロジェクトを解散して次に進むという、ほかに類を見ない生産方式といえます。

建設業の醍醐味や喜びは工事がすべて終わり、足場を解体した後に分かります。完成した建築物を見るときに感じる達成感。新築工事でもリニューアル工事でも、技能労働者から現場監督まで、多くの人々と一緒に建物をつくり込む面白さは次の現場でも続きます。ぜひそんなプロジェクトに参加して、建設業の魅力、楽しさを実感してほしいと思います。



社会の基盤をつくる 建設業に不可欠な職人技

江戸時代には梁から梁へと飛び移り、華にもたとえられたとび職人の仕事。現代では高層建築が立ち並ぶ都会の中で、鉄骨建方(組立)や仮設・足場の工事など高所作業のプロフェッショナルとして、時代を越えて建設工事になくてはならない重要な仕事を担いつづけている。



向井建設 株式会社
建築直轄施工部 直轄施工一課
布施 龍一さん(21歳)
入社3年目



持ってインターネットで調べたのですが、その時に向井建設(株)という名前を知り、学校の先生にも「とび」になりたいなら向井建設(株)がいいといわれ、採用試験を受けて入社しました。

新人社員研修は入社後の4月から1カ月間(前半)あり、その後2カ月間は、現場に配属された後に、また1カ月間(後半)の研修があります。僕の時、同期は30人で、そのうち8人が「とび」でした。この研修では実際に足場や鉄骨を使って実践的に学びます。研修の後半で鉄骨の建方を学んだとき、グループでしっかり計画したのですが、実際にはうまくいかなかったことが印象に残っています。

進化

少しずつ進化する
自分を感じるのも
仕事の醍醐味

現在は都内のビル工事現場で、ほかの工事業者さんが安全に作業できるように、足場の組み立てや安全設備の整備をメインで行っています。1年目の

※所属・役職・年齢・入社年数は取材当時のものです。

頃は資材運搬などが主な仕事でした。2年目になると、少しずつ高所での足場作業が増え、3年目の今は半分くらいが高所作業です。足場は現場ごとに、形状や状況が違い、それに合わせて組むので、毎日学びがあり作業が充実しています。今は足場を組む前に頭の中でイメージできますが、1年目はまったくイメージできませんでした。少し進歩した気がしますし、これから足場だけでなく鉄骨建方も覚えていきたいです。

僕はそれほど高いところで恐怖感などはありませんが、風が強い時に鉄骨の上を歩いていると、バランスを崩しそうになることもあります。どんな時も必ず「安全帯」をきちんと使っているためケガをすることはありません。この仕事は朝が早いしきついこともありますが、自分にとっては仕事のやりがい、達成感を感じ



ます。また、協力会社の人と一緒に作業した時に、「またよろしく」と言われた時はうれしくなりやる気が出ますね。

達成

技能五輪で銀賞
これからも
上を目指していく

現在、資格は技能検定とび(とび作業)の2級を取得。いずれは1級に挑戦して技能を身に付けていきたいですね。新人研修ではフォークリフトや高所作業車なども取得しました。

また去年は、「第54回技能五輪全国大会」で銀賞を



やま ひろし
山 寛さん(44歳)
人材開発部人材育成課 係長
入社26年目

いただきました。僕の同僚も同じ大会で銅賞を取って、ダブルで受賞しました。僕の地元山形での開催ということで、絶対自分が優勝するという気持ちでがんばりました。もちろん優勝できる自信もあったので、少し残念でした。でも、この貴重な経験を今後のモチベーションに変えて、仕事をがんばっていきます。

先輩から 後輩へ

伝統の
技能を守る
人材育成システム

2016年の10月に弊社では人事、育成、広報の各部署を集約し、新しく「人材開発部」が発足。まだ試行錯誤の段階ですが、社を挙げて人材の育成に取り組む組織づくりを進めています。一方で1997年から静岡県富士宮市の富士教育訓練センターで本物の鉄骨や建設機械などを使用しての実作業に近い新人研修を始め、国家資格取得の奨励や快適な独身寮など福利厚生も充実させています。また、技能五輪全国大会にも毎年チャレンジしており、これまでも金賞や銀賞、敢闘賞など優秀な成績を収めています。歴代の受賞者は布施くんと一緒に働く職場の先輩でもあります。

とびは身の安全を守るだけでも、技能が必要です。布施くんのような優秀な技能者も含めて、仕事に一番必要なのは毎日の地道な努力。職人の仕事は下積みが長い分、途中であきらめなければ必ず努力が報われます。身につけた技能は社会に通用する宝物になるはずです。

憧れ

とび職人の映像から
憧れて飛び込んだ
建設業の世界

僕は山形県出身で工業高校の建築科に学び、たくさんのものづくりを経験しました。高校時代に木材で小屋組み(建物の屋根をのせる骨組み構造)などをつくりましたが、もっとスケールの大きなものをつくりたい思いもありました。ある時授業で観たビデオにとび職人さんの仕事映っていて、高いところも軽い足取りで動く姿がとてもかっこよかったんです。興味を

布施さんの1日のスケジュール

7:00	現場に出動
8:00	朝礼・ミーティング
9:00	足場作業など
10:00	休憩
11:00	足場作業など
12:00	昼休み
13:00	
14:00	足場作業など
15:00	休憩
16:00	足場作業など 後片付け・清掃
17:00	現場から退勤



常務取締役
経営企画部 兼 人材開発部 部長
むかい たかあき
向井 隆晃さん

100年以上お付き合いがあるお取引先もいる弊社は、職人たちの安全を守り、技能を継承し、技能者を育ててきた伝統があります。「人材開発部」の発足とともに「ものづくり」「人づくり」の充実、そして会社とともに建設業界を支えていきます。

向井建設 株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-8-1 | <http://mux-hp.jp/>
TEL : 03-3257-1301

1908年(明治41年)に大阪で創業し、関東大震災の復興のため関東に移動。関東や東北6県を中心に専門工事業の地盤を築き、業界関係者には「鷹(とび)の向井」として広く知られているほか、土木や型枠、鉄筋なども幅広く事業を展開している。740名の社員のうち400名強が職人で、さらにそのうちおよそ300人を鷹と土工関係の職人が占めている。のれん分けで集まった同業者も多く、現代の高層化・高度化する仕事を協力会社も含めた「チーム力」で対応している。高所作業などさまざまな技術が伝統として受け継がれており、名を知られた基幹技能者も多い。会社として顧客の信頼も厚いが「信頼されるのは会社の名ではなく現場の作業」という考えを基本に、技能者育成に力を入れている。



配管

水道や空気などライフラインに関わる設備工事の要

人が快適な生活空間を得るために必要な水道や空気などのライフラインに密接に関わる設備工事は建設業界でも不可欠な存在。人材育成にも力を注ぎ、高い技術力と行き届いたサービスのために自社社員による直施工体制を維持。常時200名以上の技能者が活躍する新潟の企業の若手技能者に仕事の魅力について語ってもらった。



株式会社 千代田設備
第1工事本部 第7工事課
ほしの れお
星野 玲於 さん(22歳)
入社3年目



ごいな」と興味を持ちました。その後、就活で会社説明会に参加してみると、設備会社としては規模が大きく、社員のタイプが幅広い。また職場の雰囲気もよく、平均年齢が35歳と若い社員も働きやすい印象でした。決め手は相談役に「人間性も成長できる会社」と言われたこと。この会社一本に絞って試験を受け、就職することができました。

挑戦

技術力とともに人間力も鍛えた技能五輪への出場

入社後に配属されたのが、現在も所属している一般住宅の給排水設備を担当する工事課。施工先の規模などに応じて担当人数が決まり、チームを組んで配管工事を担当します。最初は先輩に指示されたことがすぐにできず悔しい思いをしました。わからない時は迷わず先輩に教えを請いましたが、みんな面倒がらずに教えてくれるので、不安はありませんでした。現場ではあらかじめ図面を用意していても、状況に応じて

変え、一年目はとにかく覚えることが多くて、毎日が精一杯でしたね。

この会社は技能グランプリや技能五輪など、技能競技大会への参加を奨励しています。参加者には練習材料、過去の大会で優秀な成績を収めた先輩の指導など、会社全体でサポートしてくれます。毎年、上位入賞者を輩出し、僕も「技能五輪全国大会」の配管職種で入社2年目に敢闘賞、3年目には銅賞を受賞しました。



2016年技能五輪全国大会入賞の大会風景

目標

技能力と頭の回転、体力も必要で奥の深い今の仕事を極めたい

3年目からは、仕事がどんどん面白くなってきましたね。昨年12月には新築物件の給排水管工事を初めて一人で任せられ、プレッシャーもありましたが、終わった

先輩から後輩へ

個人の成長への意識や努力を後押しできる環境を

星野くんの直属の上司として3年間、彼と一緒に仕事をしています。最初は道具ひとつままならない状態でしたが、新人とはそんなもの。現場にもすぐになじみましたし、少しずつ成長してくれればと思っていました。僕たちの仕事は結局、現場で学ぶことが多い。他の社員もみんな先輩や上司に教えてもらってきた人間なので、どんな時も教えることはいとわらないというのがうちの会社です。



さいとう かずひこ
斉藤 一彦 さん(41歳)
第1工事本部 第7工事課
入社22年目

時の達成感は想像以上に大きかったです。2カ月に及ぶ工期を事故もなく無事に終えられたことにも感謝していますが、何よりうれしかったのはお客様が僕の仕事をとても喜んでくれたこと。「仕事で人に喜ばれるのはこんなに幸せな気持ちなんだ」と思いました。今の目標は「会社で一番の売上を取る」こと。それには仕事の正確さやコストパフォーマンス、そしてお客様からの信頼が不可欠です。今はもっと知識を身につけ応用力を養う。そしてお客様からはもちろん、社内の人からも信頼される人になりたいと考えています。

大きく飛躍したなど感じたのは、自ら希望して挑戦した昨年秋の「技能五輪全国大会」の後。僕も若い時に経験がありますが、出場には知識だけでなく努力する姿勢が必要。忍耐力が養われ、精神的にも相当鍛えられる。大会後、初めて一人で現場を担当させる機会がありました。責任感が強くなりましたね。これからは仕事量だけでなく難しい現場も任せられます。僕は部下には必ず自分から声をかけますが、チームで助け合うためにもコミュニケーションは大切。部下の成長は励み、喜びでもありますね。

出会い

偶然、目にした自宅での修理作業が仕事選びのきっかけに

高校は地元新潟の工業高校の設備科でしたが、当初は将来の仕事や就職のことなんて、何も考えていませんでした。でも勉強していくうちに興味がわき、学んだ知識を生かせる仕事に就きたいと思うようになりました。そんな時に自宅で漏水事故が起きて、修理に来てくれたのが(株)千代田設備だったんです。僕もちようど家において作業を見ているうちに、その技能に「す

星野さんの1日のスケジュール

7:30	出 勤
8:00	仕事の準備 作業車で新築現場またはリフォーム現場に移動
9:00	屋内または屋外の給水や排水の配管工事
10:00	休憩
11:00	屋内または屋外の給水や排水の配管工事
12:00	昼休み
13:00	屋内または屋外の給水や排水の配管工事
14:00	休憩
15:00	現場から作業車で帰社
16:00	退 勤

※1日に水漏れ修理などを含めて2、3現場を回る

※所属・役職・年齢・入社年数は取材当時のものです。



業務部部长
やまざき なおき
山崎 直喜 さん

近年、弊社の新入社員は工業系の学校を出た人は半数未満。入社後、一から勉強して資格が取れるよう教育制度を充実させています。現場では施工主だけでなく周辺住民もいるし、大工さんなど他の業種の方と一緒に働くこともある。ですから知識や技術の習得とともに、挨拶やマナーなど心技両面での教育を行っています。

株式会社 千代田設備

〒950-0991 新潟県新潟市中央区下所島 2-17-3 <http://www.chiyodasetsubi.com/>
TEL: 025-284-1141

1965年新潟市で創業。年間1,000件超の新築戸建住宅に対する管工事、空調工事の他、商業施設や公共施設に対する管工事、空調工事など幅広く手掛ける設備工事会社。近年は衛生や空調設備に加え、電気やエネルギー事業なども展開している。創業以来、外注業者に頼ることなくすべての工程を自社社員が行う直施工体制にこだわり、常時200名以上の技能工社員が活躍。高い技術力と行き届いたサービスを徹底している。2001年には若手社員を対象とした新潟県認定の企業内訓練校「千代田テクニカルスクール」を開設。基本的な技術力の鍛錬とともに人間性の素養など、心技両面での教育を行うことで、これからの社会で必要とされる人材を育てている。



左官

歴史的建造物から一般建築物まで 壁を塗る技術で建設業を支える

建設現場にはさまざまな仕事が存在するが土壁や、塗り壁などを塗るのが左官だ。最近ではあらゆるビルの壁、床、天井にコテでモルタルを塗りつけて仕上げたりタイルを貼る、レンガやブロックを積むなど左官の仕事も多岐にわたるようになった。技能者たちが時代のニーズに的確に答えている。

株式会社 イスルギ
訓練生
う え だ と も や
上田 朋弥 さん(19歳)
入社1年目



の頃はなんとなく質問することも怖かったのですが、今はなんでも聞くことができます。ここには仕事の仲間がいて、自分の居場所があると感じます。

左官は外仕事と聞いてはいましたが、暑いときは暑く、寒いときは寒い。寒いときは服を着て調節できますが、夏はとくに大変でつらい時があります。水分と食事をしっかりとって、体力をつけなければと思います。現在は会社の寮で暮らしているので、食事3食付き。お弁当まで持たせてくれます。感謝の気持ちを忘れず、しっかり技術を習得したいと思っています。

手応え 少しずつでも
技術の成長を
感じられて楽しい

先日、金沢城の休憩場の新築工事があり、その現場で仕事をしました。下地や下こすりなど、漆喰の現場に関わるよい仕事を経験させていただきました。もうすぐ入社して1年。いつもは段取りや掃除などをしていいますが、たまに職長がこの壁を塗ってみると言ってくれます。職長の仕事をいつも見ているので真似をするのですが、自分が塗るとガタガタになってしまいます。最初の頃はもっとガタガタの状態でした。それでも最近は力の入れ方や塗ったあと定木で擦る作業など、だんだん職長の言うことが理解できるようになりました。こうして仕事をしていくことで、少しずつですが自分の成長を感じられるのがうれしいです。

大切にしていることは、先輩の話をよく聞くこと。そして、今の目標は卒業試験に受かることです。いつかは群青色(青い石灰クリーム)など難しい材料を塗ることができるようになりたい。そして後輩からもかっこいい職人さんとして見られることが夢です。

先輩から
後輩へ

同級生との切磋琢磨が
技術の向上に
つながる

上田くんとは同じ高校の出身です。年代は違いますが、先輩後輩の関係でもあります。私自身も最初は左官が何をするのか、まったく知りませんでした。現在入社から21年目で、技能検定1級、登録基幹技能者を取得しています。講師になって3年目ですが、教える難しさを日々感じています。心がけていることは、とにかくやって見せて、説明して、あとは本人にやらせます。

最初は言われたことしかできませんが、仕事を続けていくとやがて壁に当たる。誰もが経験すると思いますが、恐怖心が出てくるんですね。それだけ仕事のことを理解してきているからだと思います。

左官に向いているのは我慢強い人。そして負けず嫌いな人がいいですね。この訓練校でも同級生と競い合うこと、互いに切磋琢磨できる関係が技術の向上につながります。

さかもと ひとし
坂本 仁志 さん(39歳)
技能訓練校 実技講師
入社21年目



出会い

左官の仕事は
職人らしくて
かっこいい

高校で企業の説明会があり左官という仕事を知りました。それまで漠然としたイメージはありましたが、どんなことをしているのかはほとんど知りませんでした。(株)イスルギは姫路城の修復や金沢城の「なまこ壁」、長町武家屋敷跡に見られる「土壁」など、歴史的な建造物を手がけています。また、金沢駅のもてなしドームといった現代の建物にも、左官の技術が使われ

上田さんの1日のスケジュール

6:45	出 勤
7:00	ミーティング、現場に出発
8:00	現場に到着現場で朝礼
9:00	段取り、掃除 ※ 訓練生のため時々、塗り壁などの実習もある
10:00	休憩
11:00	段取り、掃除
12:00	昼休み
13:00	
14:00	段取り、掃除
15:00	休憩
16:00	段取り、掃除
17:00	退 勤

ていることを知りました。その時に見た職人さんたちの働く姿が、とにかくかっこよかったです。

僕はもともと高校で機械の勉強をしていました。左官は手でつくり上げる職人らしい仕事です。機械とは違った面白さがあると思いましたし、この会社には高校の先輩も何人かいたので、安心感がありました。入社してからの仕事の場合は学校や病院、ビルなどもあり、左官の仕事は幅広いと実感しました。

習得

厳しいイメージの
職人の世界も
実は居心地がいい

(株)イスルギには自社運営の技能訓練校があり、学びながら働いて技術を習得できます。毎週月曜日が技能研修の日で、知識と実技を隔週で学びます。職人といえば厳しいイメージを持っていましたが、まったく違いました。先輩たちは優しく教えてくれます。時には厳しいときもありますが、それは当たり前のこと。最初

※所属・役職・年齢・入社年数は取材当時のものです。



代表取締役社長
いするぎ のぶあき
石動 信明 さん

左官の仕事は幅広く、お城のような特殊な壁を仕上げるために専門的に育てるか、多能工として育てるか、人材を見極めて能力を引き出すようにしたいと思っています。将来は仕上げ一括、外装一括、内装一括といった職人さんが育ててほしいと思っています。

株式会社 イスルギ

〒921-8027 石川県金沢市神田1-31-1 | <http://www.k-isurugi.co.jp>
TEL: 076-247-4646

大正6年(1917年)に創業し、今年100周年を迎える。左官工事請負業として、全国でもトップクラスにあり、学校・病院・ホテル等のビルから住宅にいたるまで、外壁・内壁はもちろん、床・天井などの仕上げを行っている。170人ほどの従業員があり、そのうち140人が職人。貴重な左官技術を後世に伝承するためにも職人の育成を積極的に行っており、自社で技能訓練校も創設している。技能検定に合格した技能士も多数いるほか、技能五輪で世界一になった職人もいる。優れた技能者集団として姫路城や金沢城など国宝や文化財クラスの修復も手がけている。



造園の新たな可能性を 模索しチャレンジ

建設業許可29業種の中で唯一生きものを扱い
高い専門性が求められている造園業の仕事。
その知識と技の継承、若い人材の育成が
もっとも急がれている業種の一つでもある。
今、若い技能者たちが自然の持つ力で
多彩な場所や空間に潤いを与え、
新しい造園の世界に挑戦している。



株式会社 高橋造園土木
造園技能士
はっとり たくや
服部 拓哉 さん(20歳)
入社3年目



してくれました。1回目は入賞できませんでしたが、2回
目の山形の全国大会で銀賞を取ることができました。
国際大会に出られるのは金賞だけなので悔しさもあり



2016年技能五輪全国大会入賞の大会風景

ます。でも、皆さんの協
力や応援もうれしかっ
たですし、会社に対す
る感謝の気持ちもすご
く膨らんで、今までにな
い喜びを感じました。

目標

将来的には
高い技術を持つ
本当の職人に

この仕事の面白さは、たとえば枯れた木があっても
抜いてそれを肥料にして再生利用したり、いろいろな
発見があるところ。草木が元気に育つのも楽しい
し、体を動かすことも健康的で自分に向いて

先輩から 後輩へ

技術を磨いて
造園の将来性を
感じさせる仕事を

僕は2代目として、大学で造園を学び福岡の会社で
修行したあと入社しました。服部くんの高校の造園科
先生とは、造園指導をするなど親しくしています。服部
くんのことはその先生にも話を聞いていましたし、
技能五輪の応援にも行き「この子なら」と思いました。
一生懸命ですし、動きが違います。

うちの場合、大勢の下請けさんやゼネコン関係者と
の仕事が多く、挨拶や人との接し方はとても大事です。

います。個人的には高い木に登って剪定しているとき
が一番好きです。この会社はゼネコンとの仕事が多い
ので、現場では何十人もの下請けさんをまとめなけれ
ばいけないこともあります。だから全体を把握して、時
には仕切り役、時には職人として、効率的に動かなくて
はいけません。それに施工後の管理もおろそかには
できない。今はまだ勉強途中ですが、これから先輩に
学んでどんどん技術を身につけて、最終的には「この
人なら任せられる」と言われる
職人になりたいです。



それとこれだけは言っておきますが、遠い現場もある
ので朝がどうしても早いし、外の作業で暑さ寒さも
きつい。それでも緑が好きで造園に魅力を感じたら、
ぜひ入職を考えてください。

最近ではビルの屋上や壁面などの造園も多く、新しい
技術の勉強も必要です。従来型の日本庭園だけでなく、
常にチャレンジをしたいと思っています。
ショーやイベントの仕掛け、技能五輪大会
への参加、そして技能指導も常に行って
います。多くの人に業界の将来性を感じ
させる仕事をしていきたいですね。

たかはし なるよし
高橋 成善 さん(42歳)
入社21年目



出会い

高校の専攻を
生かし地元で
造園の道を選択

もともと奈良県の高校で造園科に在籍。技能検定
造園(造園工事作業)3級を取得していましたが、造園
業に就く意識はまだありませんでした。きっかけは3年
生の冬、出場を予定していた選手の代打として、技能
五輪大会に出場したことです。その際、この会社の人
たちが僕を見にいらして、何回か面接を重ねて入社を
決めました。熱心に誘ってくださったこと、生まれ育っ

た地元であることが決め手
でした。この会社は電気や水道
など幅広い分野と組んだり、
各種のショーやイベント、
大会にも積極的に挑戦して
います。覚えられることが幅広
く、よい職人を目指せる会社
です。

最初は朝が早いのがきつかったですが、もう慣れ
ました。年の離れた職人さんたちも親切で優しいです
し、いろいろ教えてください。木の剪定などをして先輩
やお客さんにほめられたり、通りがかりの人に「きれい
にしてくれてありがとう」と声を掛けてもらえたとき
には、やりがいを感じますね。

挑戦

技能五輪で銀賞受賞
次は後輩を指導して
国際大会を目指す

入社してからは、2年続けて技能五輪大会に挑戦し
ました。毎年10月に行われる大会の3カ月前に課題が
発表されて、特訓をします。業務にも融通を利かせても
らい、会社が専用練習場をつくって全面的にサポート

※所属・役職・年齢・入社年数は取材当時のものです。

服部さんの1日のスケジュール

7:00	出・勤・ミーティング、その後、各地の現場へ
8:00	現場に到着、準備 現場の朝礼
9:00	植栽・剪定等の作業
10:00	休憩
11:00	植栽・剪定等の作業
12:00	午前中の片付け 昼休み
13:00	
14:00	植栽・剪定等の作業
15:00	休憩
16:00	植栽・剪定等の作業
17:00	
18:00	片付け、会社へ
19:00	明日の道具の用意 退・勤



代表取締役社長
たかはし よしかず
高橋 善和 さん

15~16年前から技能大会などには必ず顔を出していますが、若い人が一生懸命励んで
いる姿には、いつも感動を覚えます。こうした人たちに造園業の魅力を伝えるべく指導者の育成
もしています。我が社は、小規模ながら東京をはじめ全国からの受注が多い。よい仕事をする
ことが営業になると励んでいます。ぜひ長くこの仕事に携わってくれる人に来てほしいですね。

株式会社 高橋造園土木

〒639-0243 奈良県香芝市藤山 2-1198-1 | <http://www.takahashizoen.co.jp/>
TEL: 0745-76-5995

1985年に大阪で創業。現在の奈良本店以外に、大阪本社、関東事業所がある。関西一圏を中心に公共・民間施設・
個人住宅の緑化ガーデンデザインなど造園工事・維持管理、植樹・植生緑化、日本庭園の設計・施工などを幅広く
行っている。さらに個人宅のリガーデン、四季通じて庭と緑を管理する「維持管理請負制」なども導入。斬新なデザイ
ンや発想で雑誌にも多く取り上げられ、2016年国際バラとガーデニングショーでは最優秀賞を獲得している。また、
施工管理技士や技能検定、庭園マイスターなどの資格取得も奨励、日本造園組合連合会を通じて「技能だけでなく
人間性も高めていってほしい」と、若手の育成、待遇の改善に取り組み、園芸科学生や入職者の増大に貢献している。



電気工事

快適な暮らしと安全を守る電気工事の仕事

新築の大型建造物から一般家庭の隅々まで生活に欠くことのできない電気工事の仕事。大都市圏からは遠く離れている島根県に若い技能者を全社を挙げて育成し全国の建設業界・電気工事業界から注目を集めている会社がある。その若手技能者たちに仕事について語ってもらった。



島根電工 株式会社
松江営業所 工務部
のつこうた
野津 宏太 さん(20歳)
入社2年目



ないことが多く大変でした。朝が早く、学生時代とはまったく違う生活リズムだったこともあります。覚えるだけで気疲れしてしまい、夜はすぐに寝てしまうこともよくありました。

電気工事用の工具が入った腰につける「腰道具」は時によっては2~3kgの重さになりますが、今はもうすっかり身体になじんでいます。まだまだ先輩の仕事を手伝う立場ですが、それでも配線や器具の取り付けなどを任されるようになりました。やっと少しは仕事ができるようになってきたと思うのは本当にここ最近ですね。最初の頃はコンセントやスイッチを一つ取り



付けるのもすごく遅かったんです。でも最近の一つ一つにかかる時間が短縮され、全体の作業も早くなりました。



先輩から
後輩へ

後輩に教えることが
自分自身の成長にも
つながっている

この会社はとにかく「社員を育てる」会社です。まず、入社直後の新人研修を始め、入社して1年から3年までの間に10回もの研修があります。また資格取得はもちろん、技能コンクールもレベルアップのためのもの。県や地方大会出場には、社内を勝ち抜く必要があるのですが、実はこの社内予選が一番厳しく、僕も2回挑戦して勝ち抜けていません。

さらに、BB(ビッグブラザー)制度があり、先輩社員が半年間新人社員をサポート。僕も野津くんも同じベテランの先輩に教えてもらいました。ここでは先輩が後輩を育てる伝統があるんです。自分も後輩に仕事を教える時はきちんとしなければと思います。野津くんはやる気がありがんばっています。僕もがんばろうと思いますね。

ひのゆうま
日野 有磨 さん(23歳)
松江営業所 工務部 班長 入社4年目



出会い

電気の仕事を目指し 研修で深まった 同期の仲間との絆

僕は工業高校の電気科で学んでいて、実習などで電気の楽しさやおもしろさを知ってから、電気関係の仕事をしたと考えるようになりました。自分で電気の配線をしたり、スイッチで点灯したり、そういうものをつくる仕事、手や身体を動かす仕事に惹かれていたんです。そんな思いから高校時代に第二種電気工事士の

野津さんの1日のスケジュール

7:10	出動 現場に出るため仕事の準備 会社を出て現場に到着、現場で朝礼
9:00	マンションの電気配線、器具の取付 ※休憩は現場により適宜
11:00	昼休み
15:00	事務所や住宅の照明取替、店舗のコンセント増設
17:00	片付け 現場を出て会社に着、後片付け、パソコンで日報作成 ※同僚とおしゃべりも。この時間帯が一番好きな時間
18:00	退勤
18:20	※月・水・金はノー残業デーのため17:00で業務終了

勉強をして資格を取ることができました。

島根電工(株)は地元でTVのCMをやっていましたし、以前からよく知っていました。だから、入社が決まった時は本当にうれしかったですね。会社に入社すると、まず泊りがけで20日間の研修がありました。この研修は高卒の人も大卒の人もみんな一緒です。同期は30人くらいですが、最初は知らない人ばかりで、うちとけられるのかとても不安でした。でも、実際には昼も夜も一緒に活動して、同じ時間を過ごすうちに普通の同期として以上に、大切な仲間として絆が深まった気がします。

進化

1年目は飛べない ハードルも2年目は 越えられる高さに

現在、僕が作業している現場では先輩社員と二人で新築マンションの各住宅内の電気配線、器具の取り付けなどをやっています。入社して2年になりますが、1年目はとにかく覚えることばかり。とくに最初の頃は慣れ

※所属・役職・年齢・入社年数は取材当時のものです。

挑戦

目標は技能コンクール 県大会・中国大会に 出場して全国大会へ

この会社では技術レベルの向上を目指すために、社内技能コンクールを開催しています。僕はまだ一度も参加したことがないのですが、ほとんどの技能者が技能コンクールを目指しています。僕もやはり挑戦して、県大会や中国大会を勝ち抜きたいと思っています。技能五輪で優秀な成績を取った先輩や電気工事技能コンクールの県大会、中国大会を勝ち進み、全国大会で優勝した先輩もいます。もっと先のことはまだ分かりませんが、今はそれを目標にして仕事をしながら勉強を続けています。



代表取締役社長
あらかききょうじ
荒木 恭司 さん

現在、月・水・金の週3回がノー残業デーです。社内行事も多く、社員と一緒に楽しむことを常に考えています。社員が満足し、楽しく仕事をしなければ、お客様を満足させ、感動させることはできません。島根は人口69万人ですが、それでも受注は増えています。この業者はよい、と思う決め手は工事以上に社員の対応。だから社員を一番大切にしている経営をしています。

島根電工 株式会社

〒690-0842 島根県松江市東本町 5-63 | <http://www.sdgr.co.jp/>
TEL: 0852-26-2833

1956年に創業。島根県内や中国地方で電気・通信・給排水衛生・空調などの各種設備工事を行う。とくに一般家庭を対象に「住まいのおたすけ隊」という名で立ち上げた小口工事・提案工事事業が好調で、全国的なフランチャイズも展開。現在50社近くこのほろ。島根県と周辺地域ではTVCMでおなじみで、社長の荒木恭司さんは工事事業をお客様に喜んでいただくサービス業と位置付け、公共事業や大型工事頼みだった建設業界に新風を吹き込んでいる。研修を中心とした社員の育成システムをはじめ、働き方の改革や数多くの施策を実現。全国から多くの講演依頼が来るほか、著書も話題になっている。



築 炉

精巧な炉づくりで日本の鉄鋼産業を支える

鉄やアルミ、生活に欠かせないさまざまなものが「炉」をくぐる(通る)ことでつくられる。

「炉」の内部に煉瓦などの耐火物を用いて施工することを築炉という。

耐火材煉瓦を積み上げてつくられるその特殊な技能は自動化がとても難しく人間の手で一つ一つ積み上げるしかない。そこには高度な職人技が求められている。



株式会社ヤマサキ
技能社員1級
しらたにかずき
白谷 和樹さん(26歳)
入社8年目



出会い

将来まで使える技能で手に職をつけたかった

普段の生活の中で「築炉」という言葉を耳にする機会は、ほとんどないと思います。耐火、断熱、保温などのために「炉」の内部に煉瓦などの耐火物を用いて施工することが築炉です。僕もまったく知らなくて、学校の説明会で知るまでどんな仕事なのかよく分かりませんでした。僕は高校生の時にソーラーボートを製作し、その時に経験した細かい作業の楽しさや、ものをつくることに興味がありました。

白谷さんの1日のスケジュール

8:00	出・動
9:00	段取り・煉瓦積み・加工
10:00	休憩
11:00	段取り・煉瓦積み・加工
12:00	昼休み
13:00	
14:00	煉瓦積み・加工・掃除
15:00	休憩
16:00	段取り・煉瓦積み・掃除
17:00	退・動

(株)ヤマサキは築炉というものづくりの会社であり、そのため専門技術や技能を短期間で習得できる「山崎高等技術専門学校」を持っています。僕は手に職をつけたいという思いがあり、技能を身につけるにはぴったりだと思いました。また(株)ヤマサキは地元の歴史ある企業なので、安心感もあり入社しました。

道

想像を超えていた施工精度への要求責任の重さを実感

炉といっても用途に応じてその種類はさまざまです。例えば製鉄所では、長寿命で安全に操業する炉が求められています。そのためには築炉に対しての技術と技能が重要になってきます。

築炉という作業は誰にでもできそうだと思っていました。しかし、細かい施工精度が要求されるため、思っていた以上に難しい仕事です。温度や湿度に気を配りながら、モルタルの練り・乾き具合を調節して

※所属・役職・年齢・入社年数は取材当時のものです。

煉瓦を積んでいきます。炉は平らなところばかりではありません。円形の部分はかなり難しく、高い技術力が必要になります。また、高温での職場環境下での作業も大変です。作業現場はそれなりに埃もあれば危険も伴いますので、マスクやメガネなどの保護具は必ず着用して取り組んでいます。一つの大きい高炉になると何百人という人たちが一緒に取り組みます。安全に作業することは非常に大切なことだと思います。

夢

世界で活躍するスーパーバイザーを目指したい

現在の主な仕事は高炉・コークス炉に代表される工業窯炉の建設工事やメンテナンスです。所属している大牟田事業部での担当業務は溶かしたアルミをフィルターを通して濾過する装置の煉瓦積みです。自分が施工した炉でつくられたアルミが世界中でいる

先輩から後輩へ

技術の習得は素直な人が伸びる人格形成が大切

私は技術職で入社し、製鉄所内で監督を十数年していました。山崎高等技術専門学校の指導員になって8年経ちます。白谷くんは築炉科第40期生で、私の最初の教え子になります。煉瓦を積み上げるためには「トロ」(煉瓦同士を接着させるもの)をコテでどのくらいつけるのか。トロに空気が入らないようにするため「もむ」(つなぎ目の空気をなくし隙間なく均一にすること)という作業があり、その力加減は

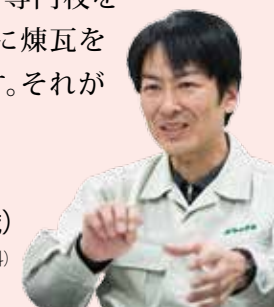
いるな製品になり、多くの人々の役に立つのはとてもうれしく誇らしい気持ちです。やりがいとともに達成感も感じます。これからは炉の品質向上を目指して、さらに施工、技能を習得していきたいと思っています。

(株)ヤマサキの技術は、海外でも高く評価されています。北欧、スペイン、ブラジル、ニュージーランド、台湾、韓国などの20カ国に技術者を派遣しています。僕も先輩たちのように、全国及び世界のスーパーバイザーになりたいです。



どのくらいにするのか。こうした技能を教えると、白谷くんは素直な姿勢で取り組んでいましたね。卒業時には築炉科で校長賞、配管科で社長賞を受賞しました。彼の仕事はとても丁寧で何事にも緻密です。人柄を含め、現場のリーダーにふさわしいと思っています。白谷くんを含め多くの卒業生が全国の製鉄所で活躍しています。「山崎高等技術専門学校を卒業した技能者は、きれいに煉瓦を積む」と評価を受けています。それが何よりうれしいです。

かねこのぶひる
金子 信博さん(45歳)
山崎高等技術専門学校(築炉科・プラント配管科)
教務課 課長 入社23年目



常務取締役
たかやしろう
高谷 史郎さん

築炉作業とそれに付随する金物を、製作据え付けからメンテナンスまでやっています。昭和40年代に建設されたコークス炉がメンテナンスの時期を迎えているため、国内だけでもかなりの忙しさです。業界のトップ企業として、これからも力強く歩み続けていきます。

株式会社 ヤマサキ

〒837-0911 福岡県大牟田市大字橋11番地 | <http://yamasaki-grp.co.jp/>
TEL:0944-58-1366

創業は1875年。日本の近代鉄鋼産業の創成期からともに歩み、142年という長い歴史を刻む老舗企業だ。築炉事業という特殊な世界で確かな技術を育み、製鉄所の設備をはじめ、さまざまな工業炉の建設とメンテナンスを手がけている。こうした技術を継承するために、自社内に山崎高等技術専門学校を設立。今年で47期目を迎え、多くの優秀な技能士を輩出している。築炉は技能士も監督も一緒に作る共同作業。危険な作業もあるので、お互いに意見を言い合える環境を大切にしている。また、築炉だけでなく、プラント部門への進出。設計から施工、メンテナンスにいたるまで、一貫した工事の受注体制を整えている。そして、それは海外でも高く評価されている。



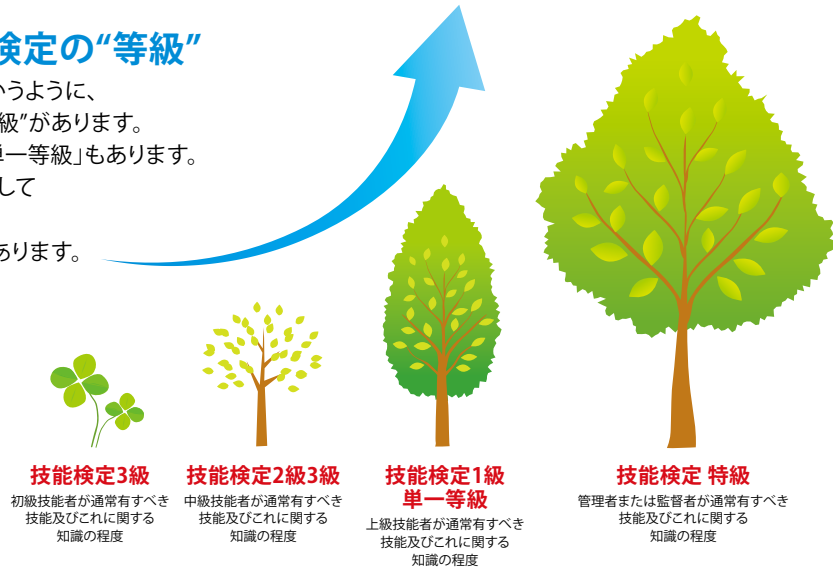
働く人の「技能レベル」を評価する国家資格 「技能検定」のご案内

国家
検定

技能検定とは、身につけた技能レベルを評価する国家の検定制度のこと。機械加工、建築大工やファイナンス・プランニングなど、全部で127職種の試験があります。試験に合格すると合格証書が授与され、国家資格である「技能士」を名乗ることができます。技能検定は、身につけた高度な技能の価値、すばらしさを広く理解してもらい、働く人々の技能と地位のレベルアップをはかることを目的に、昭和34年度にスタート。合格者は平成27年度までに601万人を超え、多くの職場で「技の証明」として高く評価されています。

技能レベルを示す技能検定の“等級”

技能検定には、特級、1級、2級、3級というように、技能のレベルを明確に区分けた“等級”があります。職種によっては、等級を区分しない「単一等級」もあります。また、外国人技能実習生などを対象として随時実施している検定では、3級、基礎1級、基礎2級という等級があります。



技能検定の仕組み

めざす等級で変わる 検定試験の難易度

「技能検定」は3級、2級、1級…とレベルが上がるにしたがい、試験の難易度が上がり、合格基準も厳しくなります。さらに職種によっては、長い仕事の経験を重ね技能レベルも熟練した管理・監督者向けの「特級」もあります。技能検定には学科試験と実技試験があり、高度な技能を持つ技能士の資格を取得するためには、その両方に合格する必要があります。

※実技、学科のどちらか片方だけ合格した人は、次回以降は不合格となった試験のみの受験も可能です。合格すれば技能士として認定されます。

専門知識のレベルを評価する学科試験

仕事に生かすための技能を高めるには、まず知識をしっかり身につける必要があります。学科試験では、技能の知識がどれくらいあるかを評価するため、「真偽式(○×式)」の問題と、多くの選択肢から正解を選ぶ「多肢択一式」の問題それぞれ25問ずつ、全50問が出題されます。

仕事の技量と経験が試される実技試験

実技試験には、例えば制限時間内でのものの製作、組立て、調整などを実際に披露して評価を受ける試験があります。試験時間は職種によっては4～6時間に及ぶこともあります。また、実際の仕事の現場状況を想定して、判別・判断・測定・計算などの試験も実施。今まで積み上げてきた技能の習熟度や経験が試されます。

技能検定はいつ、 どのように実施している?

技能検定は、国が定めた実施計画に沿って実施されています。都道府県職業能力開発協会が実施する職種では、試験問題などは中央職業能力開発協会が作成し、それぞれの試験は各都道府県職業能力開発協会が実施しています。また、職種によっては、民間の指定試験機関が行っています。検定を希望する人は、受験する職種によって各機関へ申し込み、試験を受ける仕組みになっています。

技能検定士として合格すると 何が授与される?

技能検定に合格して「技能士」の資格を取得した場合、国が認定する「技の証」として合格証書と中央に「技」の文字が入った技能士章(バッジ)が授与されます。このバッジから「何級の技能士」であるかがわかります。それ以外にも、現場で技能を生かした仕事をするとき、あるいは人に技術を指導する際の身分証明にもなる「技能士カード」や「技能士手帳」なども用意されています。



合格証書



技能士章(バッジ)

上級の技能士を目指す人に 取得への近道をチェックしよう!

技能検定では実務経験が どの程度重視される?

技能を生かし社会で仕事をするには、専門知識や技能だけでなく経験を積むことも重要です。等級が上になるほど仕事の現場で問題が起きたときに対処する能力、人をまとめて現場を管理する能力なども問われるからです。そのため技能検定では、まだ就職の経験がなく、専門学校などで勉強している学生でも受けられる3級を除き、仕事の習熟にかけた経験年数、実務経験のレベルが検定を受けるための条件の一つになっています。

学生時代の取得で 1級・2級への道が有利になる?

国が定めた制度に沿って、各都道府県が行っている技能検定は、等級によって受験に必要な実務経験の年数があらかじめ決められています。ただし、学生時代から専門学校などで学んだ知識や実技を生かし、3級の資格を取得しておく、その後2級や1級を受検するときに、実務経験の年数が短くなるメリットがあります。効率よく上級の技能士を目指すことができます。

(単位:年)

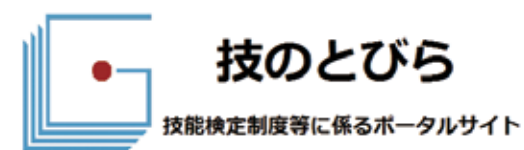
受 検 対 象 者	特級	1 級		2 級		3 級	単一等級
	1 級合格後	2 級合格後	3 級合格後	3 級合格後	3 級		
実務経験のみ		7			2	0	3
専門高校卒業 専修学校(大学入学資格付与課程に限る)卒業		6					1
短大・高専・高校専攻科卒業 専修学校(大学編入資格付与課程に限る)卒業		5				0	0
大学卒業 専修学校(大学院入学資格付与課程に限る)卒業		4					
専修学校または 各種学校卒業 (厚生労働大臣が指定したものに限る)	800時間以上	6	2	4		0	1
	1600時間以上	5				0	0
	3200時間以上	4					1
短期課程の普通職業訓練終了		6				0	
普通課程の普通職業訓練終了	2800時間未満	5					
	2800時間以上	4					
専門課程または特定専門課程の高度職業訓練終了		3	1	2		0	
応用課程または特定応用課程の高度職業訓練終了							
長期課程または短期養成課程の指導員訓練終了			1				0
職業訓練指導員免許取得					—	—	
長期養成課程の指導員訓練終了			0		0	0	

※都道府県が行っている職種の技能検定の場合です。民間の指定試験機関が実施している職種は、各機関が定めた年数によります。

技能レベルの 証明でもある技能士は、 信頼性の高い 国家資格です。

- 技能士は技能の高さについて企業から安心感が得られ、就職に有利です。
- 技能士には他の資格試験への受験資格や試験の一部免除などさまざまな特典があります。
- 技能士が職場にいる企業は、中小企業でも技術力の高さと顧客の信用を得られます。
- 技能士が社内にいることで、職場内が活性化し、教育や技術指導にも役立ちます。

技能検定に関する情報は、ポータルサイト「技のとびら」に詳しく掲載されています。



詳しくは

技のとびら

検索



